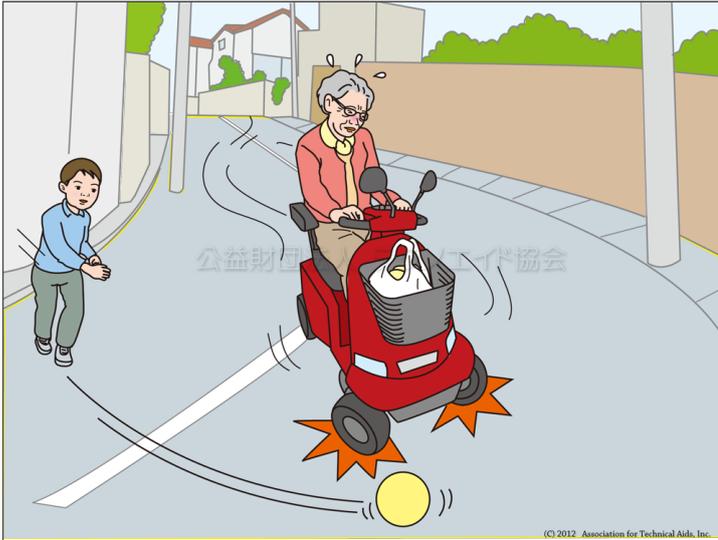


Case : 19

長い下り坂で急ハンドルをとり、転倒しそうになる

場面の説明

急に飛びこんできたボールを避けようとして、急ハンドルをとりバランスを崩した



| | |
|----------------|--|
| 利用シーン |  移動  外出 |
| 主な利用場所 |  坂道 |
| 介護保険の種目 |  車いす |
| 分類コード (CCTA95) | 122124 (電動三輪車・電動四輪車) |
| 介護テクノロジー | — |
| 二次元バーコード |  |

解説

基本的に“急発進”や“急ハンドル”など急のつく操作には危険が伴いますので厳禁です。特に下り坂では勢いがついているので転倒事故につながりやすいといえます。坂が多い地域での利用が多い場合には、特に安定感のある機種を選ぶなど予防的な配慮も必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：下り坂でいつもよりスピードが出ていることに気づかなかった

モノ：急ハンドルによる安定性が低い構造の機種であった

環境：周囲の状況を見渡すことができず、子供がボール遊びをしている姿が見えなかった

| | | |
|-----|-----|-----|
| 日付： | 所属： | 氏名： |
|-----|-----|-----|

Case : 19

長い下り坂で急ハンドルをとり、転倒しそうになる

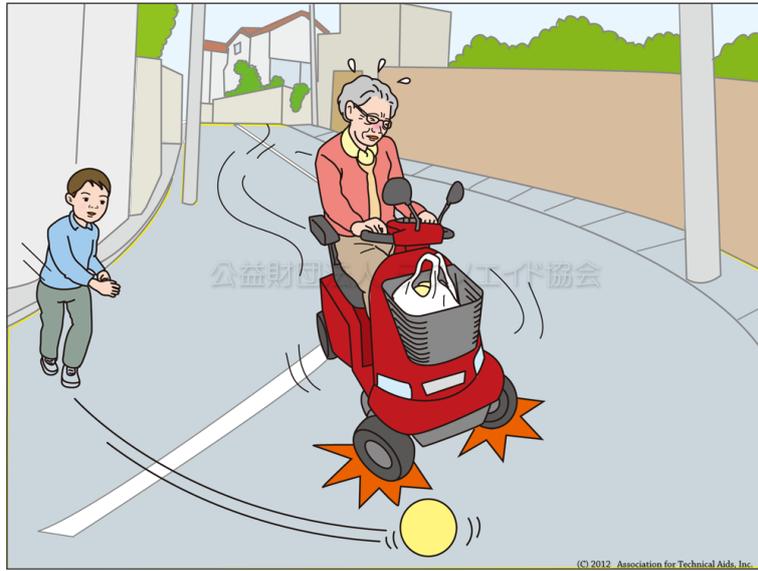
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

急に飛びこんできたボールを避けようとして、急ハンドルをとりバランスを崩した



| どのような要因が考えられますか？ | どのような対策が必要でしょうか？ |
|------------------|------------------|
| 人（本人・介護者・関係者）の要因 | |
| モノ（福祉用具）の要因 | |
| 環境の要因 | |
| 管理の要因 | |

メモ